

第23回宮城県・仙台市知的障害者水泳大会

兼 第19回全国障害者スポーツ大会選手選考会

実施要項

- 1 目的 スポーツを通じて体力の維持、増進を図り、明朗快活かつ積極的な性格と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって障害者の社会参加促進に資する事を目的とする。
- 2 主催 宮城県／仙台市／宮城県障害者スポーツ協会／仙台市障害者スポーツ協会
- 3 共催 社会福祉法人宮城県身体障害者福祉協会／社会福祉法人仙台市障害者福祉協会
宮城県知的障害者福祉協会／一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会
仙台市知的障害者関係団体連絡協議会
- 4 主管 一般財団法人宮城県水泳連盟／仙台市水泳協会
- 5 協力 東北福祉大学／東北学院大学／仙台大学／東北大学／一般財団法人宮城県水泳連盟学生委員会
宮城県障害者スポーツ指導者協議会／仙台市障害者スポーツ指導者協議会
- 6 開催日時 平成31年6月2日（日） 開会式 9:30 競技開始 10:00
- 7 競技会場 セントラルスポーツ宮城 G21 プール 宮城郡利府町菅谷字館 40-1 TEL: 022-356-0450
- 8 大会参加資格
(1) 宮城県内に現住所を有する**平成31年4月1日現在、満12歳以上の者で**、療育手帳の交付を受けた者。
もしくはその取得の対象に準ずる障害のある者及び大会主催者が認めた者。但し、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。
(2) 大会出場に際して、特に健康上問題のない者
(3) 他の選考会（陸上競技・フライングディスク・卓球・ボウリング・団体競技北海道・東北ブロック予選）にエントリーした者はこの大会へ出場できない。
- 9 競技規則 「全国障害者スポーツ大会水泳競技規則」によるものの他、本大会要綱申し合わせによる。
- 10 競技方法 競技はすべてタイムレースとする。
- 11 競技種目 個人種目 25m: 自由形／バタフライ／平泳ぎ／背泳ぎ／ビート板キック
50m: 自由形／バタフライ／平泳ぎ／背泳ぎ
リレー種目 200m リレー (50m × 4名)
200m メドレーリレー (50m × 4名)
- 12 競技順序 第16項参照
- 13 表彰 個人種目: 各種目の障害区分・部門ごとに、1位から3位までに入賞した選手にメダルを授与する。
但し、当日出場する選手が3名以内のときは、1位の者にのみメダルを授与する。
リレー種目: 1位から3位のチームに賞状を授与する。
※後日、全員に記録証を送付する。
- 14 出場申込 出場希望者は競技種目から**2種目まで**選択し、下記申込先に**平成31年4月20日（土）までに郵送又はFAXにて申し込むこと。【必着】**
※申し込み締切り以降の参加受付及び競技種目変更の受付は一切行わないので注意すること。

【申込先】 宮城県障害者スポーツ協会
〒983-0836 仙台市宮城野区 幸町4-6-2
FAX: 022-257-1062

競技順序 ※ 申込状況によっては、一部変更する事がある。

競技順序	
1. 200m個人メドレー	11. 25m ビート板 (知的)
2. 150m個人メドレー	12. 100mリレー (女子)
3. 100mメドレーリレー (女子)	13. 200mメドレーリレー
4. 25mバタフライ	14. 100m平泳ぎ
5. 25m背泳ぎ	15. 100mバタフライ
6. 100m自由形	16. 50m背泳ぎ (浮具付含む)
7. 50m平泳ぎ	17. 200m自由形
8. 50mバタフライ	18. 25m平泳ぎ
9. 100m背泳ぎ	19. 50m自由形 (浮具付含む)
10. 25m自由形	20. 200mリレー

【注】上表の**4.5.7.8.10.11.13.16.18.19.20.**の競技種目に出場することができる。
それ以外の競技種目にはエントリーできないので注意すること。

16 全国大会派遣選手の選考

- (1) 今大会の記録は、下記全国大会への派遣候補選手選考の参考記録となり、別途開催される選考委員会において最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により平成31年4月1日現在、満13歳以上の選手が対象となる。なお、選考は全国大会主催者が指定した出場選手数に基づき、種目、障害区分、性別、出場回数等を考慮して行われる。

＜第19回全国障害者スポーツ大会：平成31年10月12日～14日 於：茨城県＞

- (2) 全国大会への派遣は、仙台市内に居住する者は仙台市から、仙台市以外の県内に居住する者は宮城県から派遣される。ただし、施設や学校等に入所及び通所並びに通学している者は、その所在地から参加できるものとする。

17 その他

- (1) 参加者の体調管理については介護者及び本人の責任とし、事前に医師の診断を受けるなど、健康と安全について十分留意すること。主催者側においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については一切責任を負わないものとする。なお、競技中の負傷に対する保証は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。
- (2) 貴重品は、チーム又は個人で責任を持って管理すること。主催者では紛失等の責任は負わない。
- (3) 参加申込書に記載の個人情報、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。